



学校体育通信 「やまぐちっ子元気維新」

令和2年度 第6号

山口県教育庁学校安全・体育課 学校体育班



秋になって少しずつ気温が下がり、野山の木々も色づいてきました。みなさんも、スポーツの秋、読書の秋などを楽しんでいることとおもいます。

さて、今月号は、パラリンピック特集です。来年、オリンピックに続いて開催されるパラリンピックについてみんなで学びましょう。

パラリンピックとは？

オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料（スポーツ庁）より



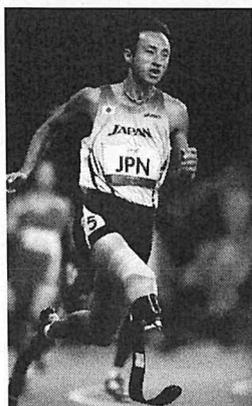
肢体不自由、視覚障害、知的障害の障害者を対象とした、世界最高峰の国際大会です。夏季大会と冬季大会があり、オリンピックの年に、原則としてオリンピックと同じ都市、同じ会場で行われます。

パラリンピックの価値

国際パラリンピック委員会は、パラリンピアンたちに秘められた力こそが、パラリンピックの象徴であるとし、四つの価値を述べています。

- 1 勇気 : マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力
- 2 強い意志 : 困難があっても、あきらめず限界を突破しようとする力
- 3 インスピレーション : 人の心をゆさぶり、かりたてる力
- 4 公平 : 多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力

パラリンピックの意義

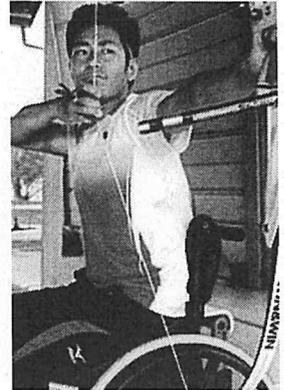


様々な障害のあるアスリートたちが創意工夫をこらして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる機会が与えられている場です。そこには、パラリンピアンやその他の障害者たちだけでなく、大会を観戦している人も含めて、全ての人間が共に生きていく社会をつくっていくための重要なヒントが詰まっています。

パラリンピックの原点

パラリンピックの原点は、第二次世界大戦後、戦争で障害を負った軍人たちのリハビリテーションの一環としてスポーツを取り入れたことにさかのぼります。

イギリスロンドン郊外のストーク・マンデビル病院の医師ルートヴィッヒ・グットマン氏は、「手術よりスポーツを」の方針を掲げ、車いすによるポロやバスケットボール、アーチェリーなどのスポーツを治療に取り入れる方法を用いました。1948年オリンピックロンドン大会にあわせて、ストーク・マンデビル病院内で、16名の車いす患者によるアーチェリー大会が開催されました。これがパラリンピックの原点です。



ここでパラリンピッククイズに挑戦！

- Q1 最初のパラリンピックは、何年にどこで開催されたでしょうか。
①1896年アテネ大会 ②1960年ローマ大会 ③1996年アトランタ大会
- Q2 オリンピックでは行われぬ、パラリンピック特有の競技がある。○か×か。
- Q3 「障害のない人と同じルール」で行うパラリンピック競技がある。○か×か。

【答え】

Q1 ②1960年 ローマ大会

Q2 ○(ある)

ゴールボール：視覚障害のある選手が行う、対戦型の団体競技。サッカーのように相手チームのゴールにボールを転がして得点するゲーム。

ボッチャ：ジャックボールという白いボールに、青、赤のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたりして近づけるゲーム。

Q3 ○(ある)

例えば、アーチェリーは同じルールで行われる種目もあります。他にも同じルールで行われる競技や種目もあるので調べてみましょう。

山口県にもパラリンピックに出場された選手がいらっしゃいます！

藤田 英二 さん (山口県障害者スポーツ協会会長)

シドニーパラリンピック出場 陸上競技 800m、5000m

オリパラ教育推進校の山口市立大殿小学校で、パラリンピアン
の藤田英二さんによる講演会が開催されました。

藤田さんは、23歳の時、車いすバスケットボールと出会い、
選手として活躍されました。30歳になった頃、陸上競技を始め、
努力を積み重ねた結果、パラリンピック出場を果たされました。

「自分で納得できるように、最後まであきらめずにがんばることが大切」「だめだと思ったところがスタート！」など、熱いメッセージをいただきました。

